

# 自主制作盤

竹田賢一

19分のハイファイ・ビデオ(としてはテクノミック・レインジがやけに小さい)『サ・バンクス87/ザ・バンカース』を出したサ・バンカースは、喝！タルイバンドが改名したグループ。全員ヴォーカルを取るロック・トリオが、少しチープで楽しいロックンロール・ビート・サウンドを聞かせる。しかし、ビデオのコンセプトがとてつもなく陳腐。街頭で演奏しているフリと演奏をシンクロさせたり、バック・ステージのなんでもないカットなど、ずいぶん前に見飽きたはずだ。コピーした画像の汚さだけが自主制作らしさというのでは、ちょっと悲しい。最近では、テロップなどのビデオ周辺機器もずいぶん安くなってきたようなので(といつてもぼくには高嶺の花だが)、プライベートなユニークさを持ったビデオ作品には期待したい(電話03-3711-0265ジャイヴ)。

がある)レコードではもつと冷静に聞けよう。フリーなサックスのサウンドとロックっぽいリズム・セクションというのが昔つくりの基本になっているけれども、曲のスタイルもフリー・ジャズはもとより、ハード・ロック、ファンクときまじまじ。さらに、シンセサイザーのSE的な音、能や童謡、演歌などの引用、サダトの特徴のある日本語などが、ユニークなコラージュ感覚をかもし出す。そういうえば踏み切りを通り抜ける電車の現実音も実際にコラージュされていた。一種の日本像が描かれてるように思うのだが、ただ、どこかしみていない。サウンドの(あるいは音楽の)芯になるものが聞かえてこないのだ(電話03-565-3627)。

元サバンハウスのヴォーカル、柴山俊之のソロ2枚目は『汚れた顔の天使/柴山俊之+セブンメンタル・フル』(HEADZ-U, H.U.1006)(写真)。ルースターズの下山淳をはじめ、奈良敏博、羽山伸也らがバックを固めている。タイトな演奏に比べるとヴォーカルの線が細く、せつなく選り抜かれた歌詞が奏通りしてしまうこともあるが、たとえばスローなタイトル曲など、悲痛な孤独感はゾクゾクする。やはり、パンタが曲を書いたこと

ツジな「ネオン・テトラ・ダンス」がいろいろでき、下山のチヤランゴがなぜか「第三の男のテーマ」を引用する「狂った果実」は、歌い方といい、石原裕次郎の挽歌にふさわしい(電話03-423-0470)。

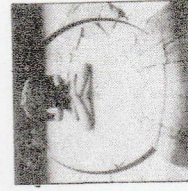
正直なところ、『流動質/妖媚ロマンス』(リリック 番号なし)を聞き返すのはちょっと辛かった。出だしのピッチを交えたヴォイスはローリー・アンダーソンでも意識しているのかなと思っただけで、このバンドの方論はまだ固まっていないようだ。ポップのいろんな「らしさ」を少しずつつまんでいるだけのような気がしてならない。A③のGSらしい歌い方をはじめ、一番辛いのはテンポだろう。速いだけが能ではないが、遅ければそれだけ一音一音にテンションが成功している。まあ、このバンドのテンポが成功しているのは、「月夜に抱かれて」だろう。和製シヤンソンらしさを狙った(?)この曲では、ねばつこさが歌のコンセプトと重なっている(電話03-323-4997)。

『ブルー・ターンズ・トゥ・グレイ』(桜S87001R)は3バンドのオムニバス。グランドファイザーズのサウンドは派手ではないが、メロディーもリズムもアレンジもよく練られている。曲の中で、また曲ごとの色合いの変化のつけかたなど、さすがだ。ほ

『HAJIME! / ALEF』(カンパリKR1)のリーダー、アレフ・サダトは西ドイツ生まれのイラン人だが、日本での生活はずいぶん長い。パチンコの前置でライブを見たときには、被虐的な日本人客に媚を売ると言うステーションに好感が持てなかったが(このアルバムでも「サラリーマン死ね」という曲

progressive ind  
古田賢

ALEF 初(Hajime I)  
KANPAI RECORDS KR1  
SADATO: 161 東京都新宿区  
中井2-28-9 宝生



中心人物のサダトは長くフリー・ミュージックのワールドで活躍し、83年モントルー・ジャズ・フェスティバル出演の経歴もある。グループとしてのアレフは他に3人のメンバー、ゲストは恐らく無限に加わるが、このレコードを使用楽器、音の傾向その他言葉で説明する事は(特にマーキー誌上では)意味がない。その上説明に足るボキアプラーを私は持ちあわせないし、レコードに取められたパフォーマーは過去の、そしてこれから行なわれるであろう演奏の単に一部分である。(と言いつつ切ってしまう方が良いのか)。

極端に古い言い方になるが、サダトは変な外人さんだ。レコードでも説経風、雅楽風、小唄風と日本寄りのポーズを見せる。ところが最終的にそれらがどの方向に集約されるかという点、「オイ、オマエ、仕事面白いか? ナニ、面白くない? ナサケナイ。サラリーマン死ネ!」である。ほら、何かフツフツと来るでしょ? 普段何くわぬ顔で「ユアウエルグム」をキメてるあなたでも。\*私にも、あなたにもある国粋主義。ほんんななな場合にも噴出し易いんだな。こうなったらいつもは呼び止められるだけムツとしたお巡りさんなんでも来い。どうです、ワザワイ防犯隊のキターが云々\*よりは説明になったでしょ? うか。(また誠意の無さを感張ってしまった。)

ALEF SWING Journal 1/88

JAZZ OF JAPAN

HAJIME! / ALEF

①シンクロ ②ニンゲン ③ツバメ  
④パチンコ・フリーズ ⑤サラリーマン・シャイン ⑥タッチ・パス・ア・モン・パテ! ⑦レイラ ⑧なんじですか  
⑨パーチャンのティニー・タイム  
⑩ホエー・アイム・クレイジー・アイム・ノーマル

●サダト(sax,flsynth,vo) デニス・ガン(g) 加藤英樹(b) 石田和也(ds,per) (本作は通信販売 問い合わせ先〒161新宿区中井2-28-9 宝生 Sadato ☎03-565-3627)

Kampai Records (Kampai) KR-1 ☎¥2,800 11月号

ASC (A.S.F) J.R. ☎¥2

マイ・フェイバリット・シン  
K25C-475~6  
5000円、11/5  
☎6000円、11/5  
伊原直子(Ms)が参加。

ALEF  
HAJIME!

自主制作盤 パフォー  
マンス色濃いステー  
ジを展開中のロック・  
グループ、ALEFがア  
ルバムをリリース。即  
興的な要素を重視しつ  
つ、ユーモアに富んだ  
サウンドを展開してい  
る。『サラリーマンシ  
ネ、何時デスカ、他

①タックル・ダウン! (ミスター石塚の  
マイ・チ) ②YGVのララバイ ③リ  
ーのサンバ ④ストレート・ノー・  
チェイサー ⑤精肉球のゆくえ ⑥ホ  
チ・ペンダ

●丸山繁雄(vo) 井上源彦(tss)  
氷田正義(p) 坂月英博(b) 藤見博  
(ds) (本作は通信販売) 問い合わせ先  
ユニオンを通じて発売)

アケタズ・ディスク  
(Aketa's Disk)  
A D-22  
☎¥2,800 6月号

マイ・ピッコロ/宮沢昭

228 Music Magazine Feb. '88

Marquee 2/15/88